

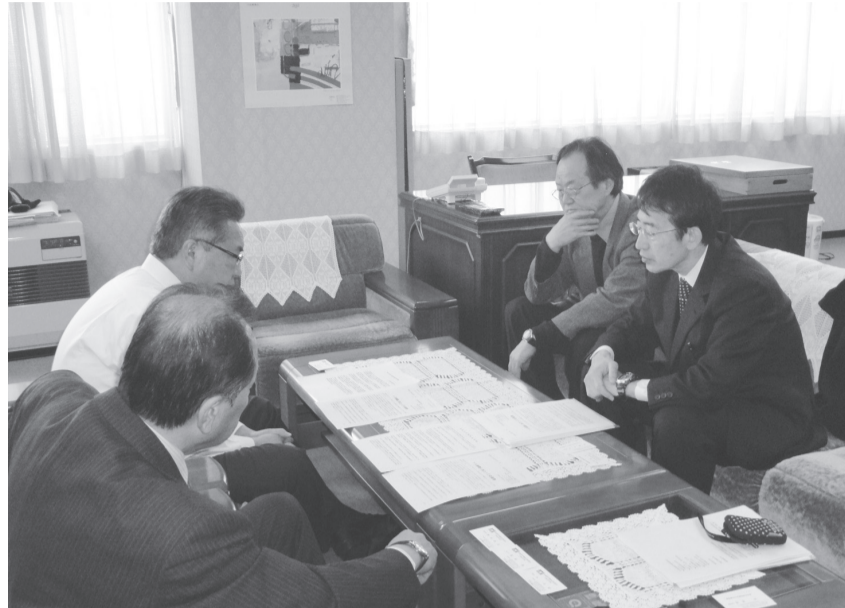
県労連 あomorい

2014年3月5日 第282号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

経営者団体と懇談を実施

大企業は率先して賃上げすべき



写真は中小企業団体中央会(左)との懇談・要請

県労連は、14春闘にあたり経営者団体への要請・懇談を実施しました。2月18日、20日にかけて県商工会議所連合会、県経営者協会、県中小企業団体中央会、県商工会連合会、県中小企業家同友会の五団体を訪問しました。

県労連は事前に賃上げ・最賃、雇用、法令順守、労働法制、中小企業支援、消費税・PPP・原発の6項目にわたる要請文を送付し懇談を深めました。

経営者団体側は「大企業は率先して賃上げをして労働者に還元すべき」としながら、「県内の中小企業は消費税増税もあり困難」、最賃は都市部と地方の差が200円以上も開いて、若者の流出防止のために引上げの必要性を認めつつ、「経営体力がないから困難」と応えました。

県労連側の、社会保険料の企業主負担を外国のように国が負担することや、全国一律最賃制を確立し、中小企業への公的支援を大幅に拡充すべきという提案には賛意を示しました。経営

側はこの他に、「消費税増税は、経営を圧迫するため不安だ」「公契約条例制定は議論が不十分」「青年の土木・建設業離れのため、職人確保が困難だ」などと率直に現状を語っていました。また一部の団体では、

エネルギー政策のためにドイツを視察し、「エネルギー・ソフト」を提言している」と述べていました。今回の行動には奥村議長、立柳及び今副議長、田中事務局長、柳谷事務局長が参加しました。

地域労連 春闘学習会開く 先ず中弘南黒が

春闘学習会を開こうという県労連の方針に基づき、各地域労連が具体化を図っています。中弘南黒地区労連は先陣を切り1月28日、奥村県労連議長を講師に、評議員会の前段に学習会を開催しました。

参加。奥村議長は労働組合の役割と任務、春闘とは何か?賃金闘争の再構築をどう図るかなどに触れ、企業の枠を超えて経済闘争と政治闘争を結合した闘いを集中すること、官民一体、単産・地域総掛かり運動が大切だと強調しました。2月20日時点で学習会の



開催日程が決まっているのは、3月12日が西北五地区労連と下北地区労連、同日が三八地労連です。

【お知らせ】

●重税反対・くらしと雇用守れ! 3・13青森集会
3月13日12時15分~12時50分、青森駅前公園

●労働法制改悪反対青森県連絡会再建総会・学習会
3月15日13時30分~16時、県民福祉プラザ

●憲法ネットあomorい14年総会・学習会
3月21日13時30分~16時、リンクステーションホール青森4F(青森市文化会館)

【写真通信】

「西北五九条の会」街頭宣伝の写真通信がありました。1月24日に、15人集まり横断幕を初披露。



主催者挨拶をする千代谷委員長

31日、県教育会館を会場に「年金下げるな・不服審査請求書提出」集会を開催。1月29日には県庁内で記者会見も行いました。集会には東青、中弘南黒、むつ支部から約70名が参加。県労連は今副議長が連帯挨拶をしました。集会後には猛烈な寒波の下、青森年金事務所まで

年金引下げは不当!

不服審査請求集会・提出行動

年金者組合県本部(千代谷邦弘執行委員長)は1月

デモ行進を行い、請求書を提出。三八支部も同日、八戸事務所に提出しました。昨年10月から、来年4月にかけて3段階で年金2.5割引き下げる政府方針を受けて、全日本年金者組合が請求人10万を目標に取り組んできた全国いっせい行動。全国的には12万6千人以上、青森県は1659人(目標千人)の請求人でした。

千代谷委員長は集会で「法可決方法も、引き下げ理由も乱暴極まりない。年金問題だけでなく、社会保障全体と人権と民主主義を守る運動だ。闘いはこれか



●警視庁によると、万引きによって一昨年一年間で逮捕・書類送検された65歳以上の高齢者は28673人で、過去最多を更新した。1999年に1万人を超え、2004年には2万人を超え翌年からは少年の万引き数を上回っているという。●高齢者がスーパーに夜9時過ぎに食料品を買いに行くという。高齢者の万引きした品物の平均価格は2千6百円で、その7割は食料品。心痛むと同時に寂しい感じに襲われる。●万引き増加の原因は高齢者の貧困化が背景にあることは明白だ。労働者の賃金が97年をピークに70万円も引き下げられた時期と重なる。●民主党政権時、社会保障改革推進法が民自公三党の賛成で成立、自公政権になってから社会保障プログラム法が成立した。この法の成立によって、年金の掛金の引上げ・支給額の引下げ、後期高齢者の掛金引上げ、70歳~74歳の医療費2割負担へ介護保険料の引上げ、保険外し、さらに4月から消費税が8割に。●一方で、日本には1億円以上の金融資産を持つ人はアメリカに次いで世界第2位の182万人もいる。ユニクロ会長は金融資産は1兆5千億円。年収200万円以下は1千万人。非正規労働者2千万人。さらに労働者派遣法・労働契約法の改悪だ。怒りを力に!

春闘 県共闘会

14春闘勝利決起集会 15労組80名参加

2月22日(土)午後、県春闘共闘会議主催の「14春闘勝利決起集会」を県教育会館で開催。15労組、80名が参加しました。伊藤圭一全労連調査局長による講演などの後、青森市内繁華街を、力強くデモ行進しました。



講演を熱心に聴く参加者

奥村共闘会議議長(県労連議長)が主催者のあいさつ。奥村議長は「賃金低下、社会保障による収奪、増税が貧困と格差を拡大している。国民総貧困を打開する春闘だ。地域・国民総ぐるみで春闘を再構築しよう」と訴えました。

伊藤氏は、詳細な資料を示しながら安倍政権の暴走による最近の危険な政治情勢や労働者・国民の実態に触れ、労働・雇用破壊、社会保障の連続改悪による国民生活破壊を止めて、改善に向けた運動論を説明しました。特に「世界的不況と言われる中でも、他の先進国は賃上げを勝ち取っている、低下しているのは

消費税増税中止せよ 目標はあくまで廃止

4月1日から8割への消費税増税。諦めることなく全国的に中止運動が続いています。「個人消費の回復こそデフレ不況

克服の力ギ」の声は、今や国民世論。日本経済の悪循環を断ち切るには、春闘で大幅賃上げを勝ち取ること、消費税増税中止は不可欠です。「消費税廃止東青各界連

日本だけ。この点から、日本の労働運動の責任は重大だ」と指摘しました。講演を受け、県労連事務局長でもある田中事務局長が賃金・最賃、労働法制、消費税増税、TPP、社会保障、原発・核燃、改憲・秘密保護法、辺野古新基地

などの課題で行動を提起。医労連、高教組、県国公の3単座から決意表明、集会アピール採択、ガンバロー唱和と続き、デモ行進に移りました。時折、陽が差す好天に恵まれ、力強いシュプレヒコールで市民にアピールしました。



東青各界連絡会の街宣

絡会」の佐々木富士男・青森民主商工会事務局長は「社会保障充実のためと言う口実はデタラメ。財界・政府は更に引上げる計画だが、あくまで廃止が目標」と語っていました。

秘法 廃止を求めて 保護 議会請願運動を開始



廃止求め街頭署名行動

憲法の基本原則を根底から蹂躪する秘密保護法。法案強行可決後も、国民の反対の声は高まり、全国で廃止を求める運動が盛り上がり続けています。

県労連は、市町村3月議会に向けて、反対意見書採択の請願運動に取り組みをすすめています。青森市内は、商店街で2回の頻度で街頭行動を実施。街宣は他に「県9条の会」も実施。「憲法ネットあおもり」は、3月21日に総会と学習会を開き、一層の運動強化を図る構えです。(開催要項は、同紙1ページの「お知らせ」を参照)

TPP 交渉撤退 以外ない

TPPは、財界の早期協定締結の圧力、安倍政権の推進姿勢にも関わらず、参加国の合意を見ないまま越

年、今日に至っています。もはや、交渉撤退以外しかありません。TPP反対県実行委員会(代表・今泉副議長)は、街頭宣伝行動など反対運動



身体が資本です。

食事で運動に頑張ろう。(三上ひろ子・ひだまりユニオン)

不服審査請求で頑張っています。(吉田和子・年金者組合)

第280回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などを、ぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。



まちがいは7つ



- 締切 4月15日
- 発表 5月号
- 宛先 〒030-0852 青森市大野字若宮 165-119 FAX、メールは欄外に表記。「第280回まちがいがし」係りまで。
- 第278回の答えと当選者

- 《答え》
- ①馬の耳
- ②馬のしっぽ
- ③男性が持つ破魔矢
- ④男の子がもつコマ
- ⑤男の子の上着
- ⑥左端の女性の襟巻
- ⑦左奥の角松
- 《当選者》

21通の応募で17名正解でした。当選者は次の方々です。宮川梅子(年金者組合)、對馬肇(自治労連)、宇部好子(県教組)、三上ひろ子(ひだまりユニオン)、長内一(建交労)。おめでとうございました。

吹雪の中の

寒立馬から元気を載せています。(都谷森孝子・年金者組合)

元日は毎年、

広田神社の汁粉を食べ、おみくじをひきます。(細川弘彦・年金者組合)

五所川原市役所が

4月から、庁内完全禁煙になります。(對馬肇・自治労連)

こんな社会にした

責任は私達にもある。映画『標的の村』を観よう!(長内一・建交労)

雪片つかけの時に

携帯電話を流雪溝にドボン。(檜山康博・学習協)

60歳過ぎてから、

生徒達の会話が理解困難になり、老いを感じます。(工藤順勝・私教連)

年末に車が

壊れてしまった。(中村龍平・建交労)

今年も張り切って

クイズ応募します。(長内幸子・建交労家族)

節分に

恵方巻きを食べます。(起田富子・年金者組合)

沖縄で

「新基地ノー」の市長勝利。とても嬉しい。(村田洋子・年金者組合)

東京都知事選で

宇都宮さんの勝利願う。(安者組合)

〈ろうきん〉のカードなら
ATMお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック!
実質 0円

東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165

藤晴美・年金者組合

「馬」に、励まされています。(宇部好子・県教組)

「まちがいがし」への応募です。(工藤哲子・年金者組合)